

議会 Assembly

新 年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、平成28年の輝かしい新春をご家族おそろいで迎えのことと心からお慶び申し上げますとともに、日ごろから町政執行に對しまして、深いご理解と格別のご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、地球規模の自然災害の発生が続き、干ばつや局地的な豪雨、竜巻など国内外を問わず甚大な被害があり、管内でもJR日高線の被災と改めて自然災害の脅威を実感させられた一年であったと思います。

そのような自然環境にありながらも、本町は大規模な自然災害もなく、比較的平穏な一年であったと思いますが、8月に春立海岸を襲った高波災害は、はるか近畿、中部沖を通過していた台風のうねりによるもので、護岸コンクリートウォールをなぎ倒し、近隣住民の方々には一時的に避難していただくなど、特筆すべきものであります。

新 年明けましておめでとうございます。希望に満ちた輝かしい平成28年の新春を迎え、心からお慶びを申し上げますとともに、町民の皆様には、日ごろから町議会活動に對し、深いご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

昨年の町議会審議は、新年度予算をはじめ、重要な案件について活発な質疑や討論が行われました。委員会や特別委員会では、各委員長を中心に現地調査が行われるなど、当然のことながら活力ある委員会活動が実施され、年4回の定例議会一般質問では、議員の質疑、主張、提言が具体的に示され、議会活動の活性化に反映された議会であったと実感しております。

常に町民一人ひとりの健康とご多幸を念じながらの日々ではありますが、平和を願う世界中の祈りが行き届かない厳しい現状の中でも、昨年に引き続きノーベル賞等の輝かしい話題や、好ましくない心痛める案件が交錯する昨今であり

一方、スポーツ界では、ラグビーワールドカップで世界ランキング上位の国に勝利を納めるなど、歴史的快挙を達成しましたし、スキージャンプのワールドカップで道産子の葛西紀明選手が最年長表彰台記録を更新するなど、スポーツに真剣に向き合う選手たちの感動的なシーンに道民全員、夢と希望をもらいました。

また、身近な話題としては、ホッカイドウ競馬が本年度においても売り上げを伸ばし、3年連続で黒字ということで計画を大きく上回る結果となり、これも皆様のご支援の賜物と感謝申し上げますとともに、先月には当町生産のサンピスタ号がGIレースで優勝と朗報が舞い込みました。今後におきましても、地域の基幹産業である軽種馬の振興発展のため、さらなるご支援ご協力をお願い申し上げます。

さて、我が国の経済を見ますと、「二本の矢」からなる経済政策の一体的推進により、順調に景気回復が進み、更なる経済の好循環の拡大や人口減少と地域経済縮小の悪循環を好循環へと変貌させるための「まち・ひと・しごと創生総合戦略」いわゆる「地方創生」を一層加速、深化させていくとされております。

しかしながら、地方ではいまだその好影響を肌で感じることはできず、人口減少が進む中、人口構造が大きく変化し、社会保障を中心とした住民ニーズの多様化が進む中でそのすべてに対応することは困難な状況となっております。

このような状況の中でも『ふる郷 新ひだか』のまちづくりは、引き続き『公平・思いやり・郷土愛』の精神をベースに、『涼夏少雪の郷』、『優駿桜国 新ひだか』の魅力と管内各町とも連携しながら全国、さらにはアジアへ向けて発信するまちづくりに取り組んでまいります。

まもなく当町は誕生して10周年を迎えます。さらに元気に飛躍するため、引き続き財政の健全化に努めながらも、町民を主役とした

で全国優勝を果たすなど、迎える新しい年に大きな希望を抱かせていただきましょう。

わが町は、誕生して10周年を迎えます。取り巻く状況は極めて厳しいものがありますが、心豊かで活力に満ちたまちづくりを実現させるため、私たちは町民一体となって着実に乗り越えていかなければなりません。

昨年は、姉妹都市との往来が多い一年でもありました。2月に徳島県美馬市議会の正副議長と副市長。5月に兵庫県洲本市の竹内市長。7月に洲本市議会の議長と会派「志」のご一行、岩手県葛巻町鈴木町長と議長、全議員12名様が行政視察に来られ、交流のきずなを深める事ができました。

私たち議会も全道町村議会議員研修で『地方創生』に関わる議会の役割と当町のふれあいバス事業や恵庭市の生ごみバイオマス化事業について行政視察、調査を行いました。

今後のまちづくりの審議にしっかりと活かしていくべく意を新たにしており



第2回観光フォトコンテスト入選作品「海辺の牧場」

行政 Administration

新 年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、平成28年の輝かしい新春をご家族おそろいで迎えのことと心からお慶び申し上げますとともに、日ごろから町政執行に對しまして、深いご理解と格別のご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、地球規模の自然災害の発生が続き、干ばつや局地的な豪雨、竜巻など国内外を問わず甚大な被害があり、管内でもJR日高線の被災と改めて自然災害の脅威を実感させられた一年であったと思います。

そのような自然環境にありながらも、本町は大規模な自然災害もなく、比較的平穏な一年であったと思いますが、8月に春立海岸を襲った高波災害は、はるか近畿、中部沖を通過していた台風のうねりによるもので、護岸コンクリートウォールをなぎ倒し、近隣住民の方々には一時的に避難していただくなど、特筆すべきものであります。

動き出しております地方創生に向けて、新ひだか町も総合戦略をまとめ、町全体で推進を図っているところであります。なかでも(仮称)馬力本願の取り組みなど馬産地ならではの構想を進めているなかでの、昨年12月6日のチャンピオンズカップGI制覇のグラント牧場生産サンピスタ号は明るい快挙として夢を提供してくれました。

更に、住民が安心して生活できる地域づくりを目指す医療分野では、バーチャル総合病院構想が着実に推進されております。

まちづくりに貢献していただいております陸上自衛隊静内駐屯地のみなさんの半世紀の実績も高く評価されておりですが、文化スポーツの分野では、音楽2団体が創立50、40周年を迎えられたり、全国大会に臨まれるなど町民を楽しませ期待を届けてくれました。

また、ソフトテニスでも個人戦、団体戦等で優秀な成績を収められたり、静内高校美術部が年賀状甲子園

進み、更なる経済の好循環の拡大や人口減少と地域経済縮小の悪循環を好循環へと変貌させるための「まち・ひと・しごと創生総合戦略」いわゆる「地方創生」を一層加速、深化させていくとされております。

しかしながら、地方ではいまだその好影響を肌で感じることはできず、人口減少が進む中、人口構造が大きく変化し、社会保障を中心とした住民ニーズの多様化が進む中でそのすべてに対応することは困難な状況となっております。

このような状況の中でも『ふる郷 新ひだか』のまちづくりは、引き続き『公平・思いやり・郷土愛』の精神をベースに、『涼夏少雪の郷』、『優駿桜国 新ひだか』の魅力と管内各町とも連携しながら全国、さらにはアジアへ向けて発信するまちづくりに取り組んでまいります。

まもなく当町は誕生して10周年を迎えます。さらに元気に飛躍するため、引き続き財政の健全化に努めながらも、町民を主役とした



協働のまちづくりを目指し、この町で暮らしたい、この町で暮らしてよかったと思っただけのような『ふる郷 新ひだか』の実現のため、また、将来を担う子どもたちに自信を持って引き継いでいくため、町民の皆様と『心をつなぐ』前を向いて、『この町を希望の持てる、より良い、より心豊かな暮らしのできる町にするため、年頭にあたり決意を新たに一層の努力を傾注する所存であります。

結びとなりますが、本年も昨年同様、町政に對するご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

2016年 年頭のごあいさつ